

令和6年5月10日

会 員 各 位

岐阜県保育研究協議会
会長 可児 亨

令和6年能登半島地震にかかる被災地支援について（ご報告）

保育事業の推進につきましては、日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和6年能登半島地震にかかる「岐阜県保育団体被災地支援募金」につきましては、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

4月30日（火）、（一社）岐阜県民間保育園・認定こども園連盟の役員が、2団体を代表して再度石川県を訪問しました。



はじめに、「オールこども石川」事務局（金沢市）へ義援金とメッセージをお届けしました。
募金にご協力いただいた会員施設（法人）名・市町村名等を一覧にまとめ、皆様からの心温まるメッセージとともにお渡ししています。

続いて、穴水町 平和こども園へ向かい、義援金・見舞品等をお届けしました。

前回（3月15日）も訪問しました平和こども園では、ようやく下水復旧工事が始まったことで一部のトイレが使用可能となり、4月より保育を再開されていました。

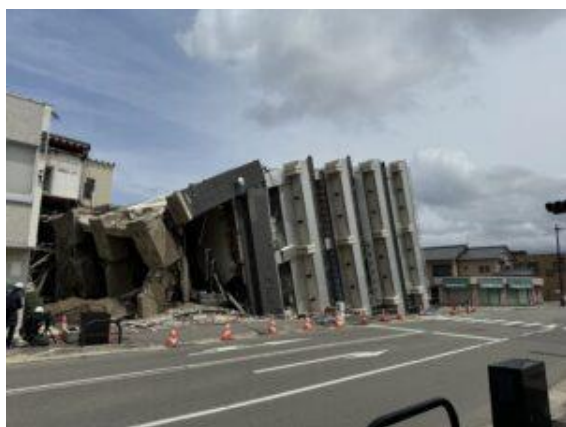


その後、輪島市 和光幼稚園（幼保連携型認定こども園）を訪問し、義援金・見舞品等をお届けしました。

地震と併せて火災も発生する等、甚大な被害の出ていた輪島市、和光幼稚園はその中心部にあります。3年前に新築した園舎は十分な耐震強度があったものの、隣接した民家が倒壊し、園舎に突き刺さる等、大きな被害に遭われましたが、地震発生後には自主避難所として近隣住民を受け入れられていました。



現在、園舎への避難者はいませんが、自宅が全壊した園長は今でも園で寝泊まりをされています。3月より保育が再開されましたが、市内にはいまだに倒壊した建物が残り、避難先から戻っていない園児・保護者や職員もいる状況だそうです。



輪島市内では震災から4ヶ月が経過した今でも、倒壊した家屋のほとんどが手つかずとなっており、避難先から仕事に向かう方も多いような状況です。

「岐阜県保育団体被災地支援募金」では第三次募集としまして、令和6年5月31日（金）まで引き続き募金を受け付けています。

皆様におかれましては、何卒ご協力よろしくお願い申し上げます。